

令和5年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

学校名(新潟県立海洋高等学校)

1. 取組についての評価

○地元産業界と学校教育現場の連携力の向上により、来年度以降の横展開が可能になった。まずは上越地域の1次産業に関連する高校に広めていきたい、とのこと。

○事業を通して生徒にどのような能力向上がみられたのか、客観的に評価できている。具体的には「学びみらいPASS」によるリテラシーとコンピテンシーの評価を行っており、特に「親和力」「協働力」「計画立案力」等のコンピテンシーの数値が3年間のマイスター・ハイスクール事業の取組で全国平均を上回る成果をあげている。これは、自己完結的に能力を伸ばせるリテラシー(「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」等)に対して連携力を発揮しないと能力を伸ばしにくいコンピテンシーにマイスター・ハイスクール事業が有効であることを客観的に示すものと捉えている。

2. 今後の課題と考えられること

○全国的に他校の取組を知ることが生徒に好影響を与えること、校外の方々と協力したマネジメント経験の少ない校長の支援になること等、伴走支援の必要性が示されたが、来年度以降の自走段階においてもこうした役割をどのように発揮していくかは検討を要する。